

2学期の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の様子、変化 	<p>ポビンのひも通しやマジックハンドでボール運びゲーム、色のマッチングを行った。ポビンのひも通しでは、教員とひもを通す位置を確認すると、一人で行うことができるようになった。また、教員が言葉かけを行うと休憩と作業の区別をすることができた。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の成果や課題 ・効果的だった支援の実践方法等 	<p>教員の言葉かけや教員と一緒に取り組むことで本人の意識を作業に向けることができる。 教員の言葉かけで行うことができるものがより一層増えるように物品を用意する必要があった。</p>
まとめ	<p>全校研究③学年・クラスで検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の来年度の目標、課題等 	<p>着替えの際、しっかりと服を注視し、一人で正確に着替えることができるようになる。</p>

実態把握と目標設定	• 学部	高
	• 学年	
	• 対象児童生徒の障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害、 <input type="checkbox"/> 自閉症、 <input type="checkbox"/> LD（学習障害）、 <input type="checkbox"/> ADHD（注意欠陥・多動性障害）、 <input type="checkbox"/> 情緒障害、 <input type="checkbox"/> 視覚障害、 <input type="checkbox"/> 聴覚障害、 <input type="checkbox"/> その他
	• 対象児童生徒の課題	課題： ・自分の欲求が満たされないと次の行動に移せない場面が多く、気持ちの整理や切り替えを意識すること。今、何を最優先にしないといけないかを考える力を養う。
	• 自立活動の目標	・学校生活の様々な活動の中で、その都度何を優先的にしないといけないかを考え気持ちを整える。
	• 上記目標に対応する区分	健康の保持 心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き コミュニケーション
	• 支援の手立て	・状況に合わせて問いかけをし、自分の行動が正しいのかを考える機会を設ける。 ・気持ちが整わないときは少し時間をとり、気持ちの整理ができる環境をつくる。
1学期の振り返り	• 児童生徒の様子、変化、課題	自分の欲求が満たされないと時間が守れない、反抗的になる。 折り合いがつかないように話をする。
	• 教員自身の成果や課題 • 効果的だった支援の実践方法等	前もってそのような状況にならないようにもっていく
グループ討議	<u>全校研究②学年・クラスで検討</u> • 参考になった支援方法等	タブレット型端末を使用するルールを前もって視覚的に提示して、使用する直前にも確認する。

2学期の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の様子、変化 	<p>自分の気持ちがしんどくなった時に教員に伝えることができる場面があった。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の成果や課題 ・効果的だった支援の実践方法等 	<p>生徒からの発信時に話をする時間を設け、気持ちの整理をする時間をつくることができた。成功体験を実感することで「それでいいんだ」という自信に繋げる。</p> <p>薬の服用も効果的・・頓服を飲むか飲まないかの選択を自分でできないときは、教員から促すことも必要。</p>
まとめ	<p><u>全校研究③学年・クラスで検討</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の来年度の目標、課題等 	<p>自分の欲求と最優先事項とを照らし合わせ、自分の今の考えや行動が正しいのかを考える時間を設ける。自分の欲求はどういうときに優先することができるかを確認する。</p>